

村上農園のブロッコリースプラウト

出荷好調、5割増

機能的野菜への関心で

村上農園（村上清貴社長、本社＝広島市佐伯区）が生産販売する2つの機能的野菜「ブロッコリースプラウト」および「ブロッコリースーパースプラウト」の今年1～5月までの累計出荷量が、前年同期比150%と好調だ。この背景には

分を技術開発により高い含有量にした野菜のこと。最近では、元々野菜が含んでいる成分を低含有にしたものも機能的野菜に位置づけられている。

高濃度を含む機能的野菜。米国ジョンズ・ホプキンス大学医学部教授のポール・タラー博士が、ガン予防研究の過程で開発したものだ。

「ブロッコリースーパースプラウト」の今年1～5月までの累計出荷量が、前年同期比150%と好調だ。この背景には

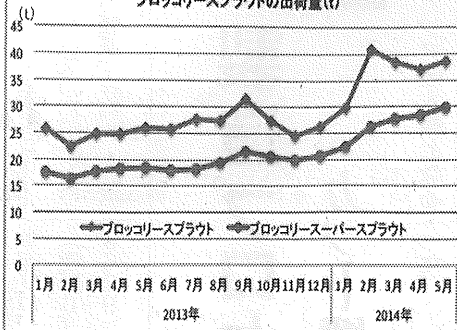
現在政府では食品の

同社では1999年に

「機能的表示制度」の緩和施策が検討されており、現行制度で制限されている生鮮食品の機能的表示が、科学的根拠を条件に來年度から認められる見込み。この動きを受けて「機能的野菜コーナー」を設置するスーパーマーケットもあるなど、消費者の機能的野菜への関心が高まっている。

国内初の機能的野菜として、一般的なブロッコリーの約7倍のスルフォラファンを含む「ブロッコリースプラウト」を発売。2001年にはブロッコリーの約20倍のスルフォラファンを含む「ブロッコリースーパースプラウト」を発売した。さらに04年には広島大学との共同研究により、野菜には含まれない栄養素であるビタミンB12を含んだかいわれ大根「マルチビタミンB12かいわれ」を発売している。

ブロッコリースプラウトの出荷量(t)



「機能的野菜」への注目度の高まりがある。機能的野菜とは一般的に、本来野菜には微量にしか含まれない、もしくは全く含まれない成

「スルフォラファン」を

発売している。